

再び戦争への道に歩まぬために

加印・平和のための戦争展

8月12〜14日、「加印・平和のための戦争展」がひらかれ、2市2町の首長からメッセージが寄せられました。

戦後76年、先の大戦以後の世代が大半となりました。政府による集団的自衛権の行使容認の閣議決



地域に残る戦争遺跡・遺品の展示

定を起点に安全保障法を成立・施行されて自衛隊が海外の戦争に参加していく恐れがあります。また、あの戦争を「アジア解放の正しい戦争」としている靖国神社への閣僚の参拝が続いています。

平和の尊厳を伝えて

我が国にとってもアジア諸国の人達にとっても、あの戦争は何だったのか、その歴史をどう引き継ぐのか極めて重要になっています。「平和のための戦争展」は地域に残る戦争遺跡・遺品などの展示を通して平和の尊厳を伝えていきます。

奪われた学問の自由

美濃部研究会会長の宮先一勝さんから「天皇機関説から85年・見



つかった美濃部達吉の手紙の講演がありました。統治権の主体は国家にあり、天皇はその最高機関とした「天皇機関説」が、軍部などから排撃され憲法学者、美濃部達吉が貴族院議員を辞職に追い込まれた、「天皇機関説事件」(1935年10月)から、日本は戦争への道を突き進んでいきました。

菅義偉首相は日本学術会議の会員候補任命を拒否した問題で、政治と学問の関係が問われる今、学問の自由の大切さを現在に訴えているのではないのでしょうか。

近畿比例4議席回復必ず

共産党躍進で野党連合政権を

総選挙



衆院近畿比例・名簿登載予定者(左から)宮本たけし、こくた恵二、西田佐枝子、こむら潤、竹山彩子、清水ただしの各氏

秋までには、必ず衆議院選挙が行われます。

コロナが収束せず、第5波で医療崩壊が現実のものとなっています。痛みと我慢を押しつける菅・自公政権を退陣させ、希望ある新しい政治が必要です。命を大事にする政治をと頑張る日本共産党と野党共闘の前進で、信頼できる政治を実現しましょう。

近畿比例ブロック(定数28議席)では、上記の6氏が登載予定者となり、180万票の得票、4議席確保をめざしています。比例代表は政党名「日本共産党」とお書きください。(個人名は無効となります)

益と敗戦記念日

今年で七十六回目の終戦記念日を迎えますが、そのたびに広島で疎開中に原爆で跡形もなく消えてしまったおじさんの奥さんと子供二人、佐世保の海軍で結核に倒れた父の兄、ウラジオストックで捕虜になり東欧迄抑留された父のことを思う。

8月15日の敗戦記念街頭宣伝

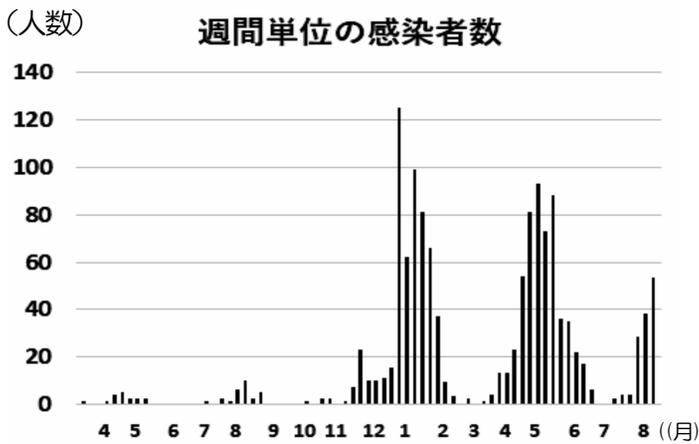
飛び歩記



立花俊治

でも毎年触れて私なりの戦争反対を言っています。ドイツのシュタインマイヤー連邦大統領は侵略戦争の罪を認めています。日本では、南京虐殺はなかった、従軍慰安婦という言葉を使わせない。大臣の靖国神社参拝が続いています。識者はすでに日本は行政法上は何時でもどこでも再び戦争することができるようになっていくと指摘しています。来る総選挙でコロナ対策に集中し、戦争は絶対にしない連合政権を必ず実現したいと思えます。その先頭で頑張ります。

コロナ 加古川市の感染状況



加古川市の感染者数は8月13日で1800人を超えています。その内、日々の変化が判る1298人について週間単位で集計して棒グラフにしてみました。(上記)

どが軽症の方ですが中には無症状の方も十数名おられます。PCR検査の徹底で、無症状の感染者を発見、保護して感染の広がりを止める必要があります。

年代別感染状況(8月1~16日)

